

大手前通りのご提言に対する

報告会を開催しました。

大手前通りみちだより

No31

発行所

松江県土整備事務所
Tel.0852(32)5755

松江市役所都市計画部
都市計画課
Tel.0852(55)5380



ナンジャモンジャ開花時の大手前通りの整備イメージ

大手前通りの街路整備計画について、昨年「大手前通りみちづくり委員会」(委員長 熊野稔 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 准教授)から、5つの提言をいただきましたが、これに対する県の検討結果についての報告会を去る10月11日に開催しました。

委員会からは昨年、街路空間のデザイン等について下記の5つのご提言をいただきました。報告会では県から、①街路樹には「ナンジャモンジャ」を考えていること。②歩道の舗装材料として材料費の高騰により自然石ではなく擬石(人工石)を用いること。③出土した石組み水路の石材を松江城の石垣修復やポケットパークに再利用すること。④大手前通りの歴史を案内する看板を設置すること等を説明して、概ねご理解をいただきました。

今後、引き続き地元の委員

「大手前通りみちづくり委員会」からの5つの提言

- 提言1 「四季を感じられ松江と縁がある街路樹を」
- 提言2 「城下町松江の歴史・文化を感じられるみちを」
- 提言3 「誰もが使いやすい安全で快適なみちを」
- 提言4 「親しまれる大手前通りへ」
- 提言5 「水辺を感じられるみちを」

提言について詳しくは、ホームページをご覧ください。
http://www.pref.shimane.lg.jp/matsue_kendo/ootemae/

の方々を中心とした「みちづくり協議会(仮称)」を設立し、米子橋の高欄やポケットパークのデザインのこと、歩道舗装材料の選定、整備後の街路の活用などの具体的な課題について検討していきたいと提案させていただきました。

今後、委員の皆様をはじめとして幅広い方々のご意見を伺いながら事業を進めてまいりますのでよろしくお願い致します。

検討結果に対していただいたご意見の概要

報告会でいただいたご意見の一部をご紹介します。



サンプルとして提示した御影石調の擬石平板
3つの色調を提示してご意見を伺いました

歩道舗装

視覚障害者誘導ブロックは、高齢者は逆に点字の凹凸に足を取られる。高齢者のような足の弱い歩行者の歩行空間にも配慮してほしい。

擬石を採用するのは、コスト的にも機能的にも良い。できるだけ御影石に近いものにしてほしい。

米子橋

米子町は明治期にできた街、米子橋は明治・大正の雰囲気を残してほしい。

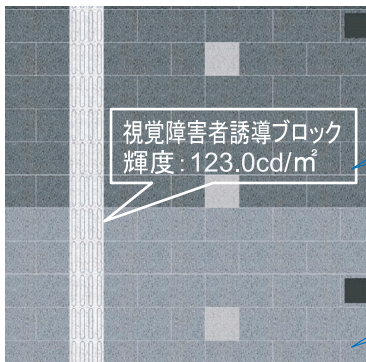
街路樹

延長1kmにおよぶナンジャモンジャの並木道は全国でも類をみない。話題性をつくるためにもお城の前からナンジャモンジャを植えてほしい。

歴史を活かしたみちづくり

大手前通りはもとより普門院への道路などの市道の歴史的整備も行うべき。

視覚障害者誘導ブロックの豆知識



濃グレー

輝度: 38.8cd/m²

→ 輝度比: 3.2

視覚障害者誘導ブロック
輝度: 123.0cd/m²

グレー

輝度: 40.7cd/m²

→ 輝度比: 3.0

※輝度比:

視覚障害者誘導用ブロックの輝度/舗装路面の輝度 視覚障害者誘導用ブロックと周辺舗装とのコントラスト(識別性)を評価するのに用いる指標です。輝度比2.0以上が認識しやすい基準とされています。

資料: 道路の移動円滑化整備ガイドライン (財団法人 国土技術研究センター)

視覚障害者誘導ブロックは、一般的には黄色のものが多く見られますが、高齢者に多い白内障などの疾患では黄色を識別するのが困難になるといわれています。こうしたことを総合的に勘案して識別しやすくするためには、色ではなく路面とのコントラストや輝度比※が重要なようです。



松江大橋 黒御影石に白い自然石の視覚障害者誘導ブロック

● 用地補償に関するお問い合わせ

松江県土整備事務所 用地第3グループ

TEL0852(32)5692

● 設計工事に関するお問い合わせ

松江県土整備事務所 都市整備グループ

TEL0852(32)5755

● まちづくりに関するお問い合わせ

松江市役所 都市計画部 都市計画課

TEL0852(55)5380

編集スタッフより



“大手前通りみちだより”に関するご意見をお寄せください。
みなさまに喜んでお読みいただける紙面づくりを心がけています。
だよりは、インターネットでもご覧いただけます。